

令和5年度 学校努力点推進計画

1. 主題

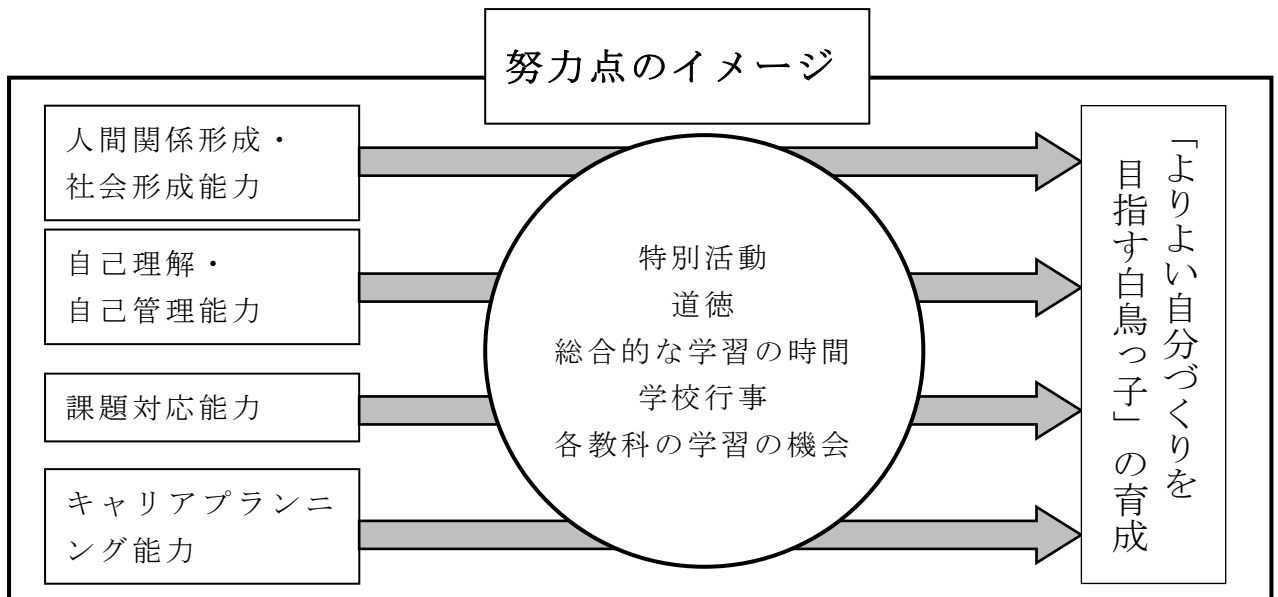
キャリア教育の推進

—「よりよい自分づくりを目指す白鳥っ子」の育成を目指して—

2. 方向性

名古屋市教育振興基本計画では「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成」を基本理念としている。そのための施策として、子どもの進路を応援するため、一人ひとりの発達過程を支援すべく「キャリア教育の推進」を基本的方向としている。また、名古屋市学校教育の重点事項では、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質能力を身につけるためのキャリア教育の充実が挙げられている。また、本校は学校教育目標に「よりよい自分づくりを目指す子」を掲げており、将来に向けて努力する子どもを実践を通して育てたいと考えた。

キャリア教育で育みたい能力として「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の四点がある。本年度は学年でこれら四点の能力を育成するためにどのような実践を行っていけばよいのかを模索し、最終的には「よりよい自分づくりを目指す白鳥っ子の育成」を目指していきたい。



3. 実践の概要

(1) 実践方法

- ・ 特別活動・道徳・総合的な学習の時間・学校行事・各教科における学習の機会を生かしつつ、教育活動全体を通して実践を行う。
- ・ 全員が授業公開をし、職員間で力量を高めていく。
- ・ 年度当初に年間指導計画を学年で（なかよし・ひかりは個別に）作成する。
- ・ 代表授業を低学年・高学年で実施し、事前検討会・事後検討会を行う。

【基礎的・汎用的能力の表】

| | 低学年 | 中学年 | 高学年 |
|------------------------------------|---|--|--|
| キャリア 発達の主 たる課題 | 学校生活への適応 | 友達づくり，集団の結束力づくり | 集団の中での役割の自覚，中学校生活に向けた心の準備 |
| キャリア 発達に即 した主た るねらい の例 | 自分の好きなこと，得意なこと， できることを増やし，様々な活 動への興味・関心を高めながら 意欲と自信をもって活動できる ようにする。 | 友達のよさを認め，協力して活 動する中で，自分のもち味や役 割を自覚することができるよう にする。 | 苦手なことや初めて経験するこ とに失敗を恐れず取り組み，そ のことが集団の中で役立つ喜 びや自分への自信につながるよ うにする。 |
| 人間関係 形成・社 会形成能 力の例 | ・あいさつや返事をする。 ・友達と仲よく遊び，助け合う。 ・家の手伝いや割り当てられた 仕事・役割の必要性が分かる。 | ・自分と友達のよいところを認 め，励まし合う。 ・互いの役割や役割分担の必要 性が分かる。 | ・異年齢集団の活動に進んで参 画し，役割と責任を果たす。 ・社会生活にはいろいろな役割 があることやその大切さが分か る。 |
| 自己理解・ 自己管理 能力の例 | ・自分の好きなもの，大切なも のをもつ。 ・決められた時間や，生活のき まりを守る。 ・自分のことは自分で行う。 | ・自分のよいところを見付ける。 ・自分のやりたいこと，よいと 思うことなどを考え，進んで 取り組む。 ・自分の仕事に対して責任を感 じ，最後までやり通そうとす る。 | ・自分の長所や短所に気付き， 自分らしさを発揮する。 ・自分の仕事に対して責任をも つ。 |
| 課題対応 能力の例 | ・作業の準備や片付けをする。 | ・計画づくりの必要性に気付き， 作業の手順が分かる。 ・学校生活をよりよくするため に話し合う。 | ・自分に必要な情報を探す。 ・見付けた課題を自分の力で解 決しようとする。 ・学級活動をよりよいものにす るために解決方法を話し合 う。 |
| キャリア プランニ ング能力 の例 | ・係や当番の活動に組み込み， それらの大切さが分かる。 ・身近で働く人々の様子が分か り，興味・関心をもつ。 | ・係活動や当番活動に積極的に 関わり，働くことの楽しさが 分かる。 ・いろいろな職業や生き方があ ることが分かる。 ・日常の生活や学習と将来の生 き方との関係に気付く。 ・将来の夢や希望をもつ。 | ・施設・職場見学等を通し，働 くことの大切さや苦労が分か る。 ・身近な産業・職業の様子やそ の変化が分かる。 ・学んだり体験したことと，生 活や職業との関連を考える。 |

(2) 授業実践

- ① 指導計画に基づき、日々の授業で積み重ねを行う。
- ② 授業研究
 - ・ 各学年で前期、後期を決定し、授業を公開する。
 - ・ 公開授業に向けて、各学年で協力して授業を考える。
 - ・ 公開授業では、指導案（略案）を作成し、授業を行う。
 - ・ 公開授業は日程が重ならないように調整する。
 - ・ 公開授業の事前検討は1週間前までに各学年で行う。

- ・ 公開授業の事後検討はその日の授業後に各学年で行う。学年以外で参観に来た先生のところには個別で、成果や課題を聞きに行き、学年で共有する。
- ・ 公開授業日は全員が把握できるように、スズキ校務で知らせる。(参観できそうであれば他学年の先生も参観し、授業力向上に努める。)
- ・ **代表授業は1名が実施する。**
- ・ 代表授業の事前検討は1週間前に、事後検討はその日の授業後に全体で行う。

(3) 実践報告

中間報告会・・・9月に中間報告会を行う

授業で出た成果や課題を明確にし、後期の実践につなげる。

最終報告会・・・2月に最終報告会を行う。

各学年で1年間の実践をまとめ、次年度につなげる。

(4) 実践計画

| | |
|------------|---|
| 4月 ～5月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践する教科を決める。 ・ 学年、学級の実態に応じて目指す児童像を検討する。 ・ 単元、手立てを検討する。 ・ 前期の実践計画を立てる。 |
| 6月 ～7月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期の授業実践を行う。 ・ 事前検討、事後検討を行う。 |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 前期の実践をまとめる。 |
| 9月 ～12月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間報告会を行う。(9月) ・ 後期の実践計画を立てる。 ・ 後期の授業実践を行う。 ・ 代表授業を行う。(10月19日) |
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 後期の実践をまとめる。 |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 最終報告会を行う。 |